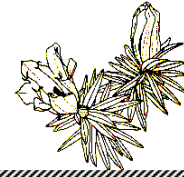


# 屋久島国立公園だより



2011年6月号

発行：環境省屋久島自然保護官事務所（屋久島世界遺産センター内）

〒891-4311 屋久島町安房前岳 2739-343

TEL:46-2992, FAX:46-2977, E-mail: RO-YAKUSHIMA@env.go.jp

地球のいのち、つないでいこう



生物多様性



## 小笠原諸島：世界自然遺産登録へ

先日、国際自然保護連合（IUCN）は小笠原諸島（東京都）について、世界自然遺産として「登録が適当」との評価をまとめ、国連教育科学文化機関（ユネスコ）の世界遺産委員会に報告しました。今後、6月19～29日にパリで開かれる世界遺産委員会で正式に登録が決定される見通しです（図1）。登録が決定すれば、国内では、1993年12月の屋久島、白神山地、そして2005年7月の知床に続き4ヶ所目となります。

### 小笠原諸島

東京から約1,000km南に位置する海洋島です。<sup>おこしじま</sup>聳島列島、父島列島、母島列島などの大小30あまりの島々から構成され、国立公園に指定されています（図2）。

### 自然環境

限られた面積の中で独自の種分化が起こり、数多くの固有種が見られます。特に陸産貝類や植物、昆虫類においては、今なお進行中の進化の過程を見ることができます。また、世界的に重要な絶滅のおそれのある種の生育・生息地でもあり、オガサワラオオコウモリ、メグロ、シマアカネ、カタマイマイなどIUCNレッドリストに57種が記載されています。

### 課題と対策

約180年前の人間の入植を契機とする外来種の侵入により、本来の生物多様性が脅かされています。小笠原の種や生態系、景観を後世に引き継ぐため、新たな外来種の侵入防止、既に侵入し生態系への影響が特に大きな外来種の駆除など、様々な取り組みがなされています。IUCNの評価結果においても、外来種対策への努力を続けることが要請されています。

今後は遺産登録に伴う観光客の増加による生態系への影響が予期されるため、世界遺産としての価値を維持するための利用ルール作りが必要になると考えられます。

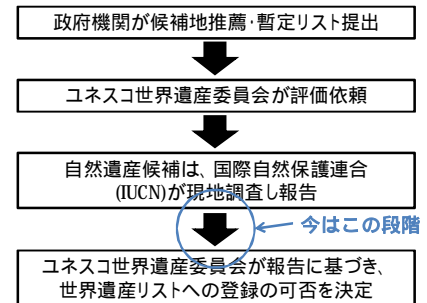


図1：世界自然遺産登録までの流れ

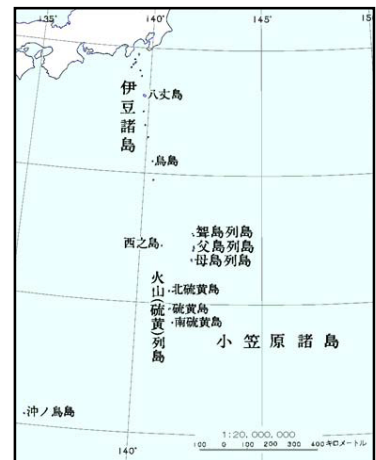


図2：小笠原諸島の位置（南鳥島を除く）

## 世界遺産センター情報

## Information

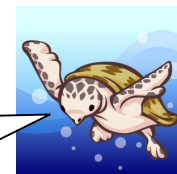
### ウミガメ展

6月中旬より展示予定！！

アカウミガメの頭骨や、産卵巣の模型等を展示します。

開館時間（9：00～17：00） 入場無料

卵はどのくらいの深さに埋めるのかな？  
体感してね！！



# 自然に親しむ集い

## 貝殻の観察会のご案内

共催 / 環境省九州地方環境事務所、屋久島町、財団法人屋久島環境文化財団

開催日時 / 平成23年7月9日(土) 9:30 ~ 12:30 (受付9:15)

開催場所 / 屋久島町 田代海岸

天候に応じて変更の可能性有り

講師 / 名和 純さん(琉球湿地研究グループ)

定員 / 15名(先着順)

参加対象 / 中学生以上

参加料 / 1人 300円

(ご家族で参加される場合は、2人目から1人当たり100円となります。)

集合・解散場所 / 屋久島環境文化研修センター前

応募方法 / 6月 15日(水) ~ 7月 1日(金)の間に、電話、メール、ファックスにて、屋久島自然保護官事務所までご応募ください。メール・ファックスの場合は、必ず住所・氏名・自宅の電話番号をご記入ください。

応募は“先着順”とさせていただきます。

服装、持ち物など / 濡れても良い靴、タオル、水筒、ビニール袋等

その他 / 悪天候等のため中止又は開催場所の変更をする場合は、

当日午前7時までに電話連絡します。

## いきものコラム

### 第4回 雨の日はコケを観察しよう。

屋久島は多雨多湿な環境のため多種多様のコケが生育しており、その数は600種に上ります。コケには、水分、土壌を保持したり、芽生えのゆりかごや鳥の巣材になったりと様々な役割を果たしています。

梅雨は、もっともコケが瑞々しい時期です。雨の中の登山は、憂鬱な気分になりがちですが、水滴がきらめくコケを観察できる絶好の機会です。小雨の場合はゆっくりと、コケを観察しながら散策することをお勧めします。

(参考資料 屋久島のコケガイド 屋久島環境文化財団)



5月30日撮影した、ケチョウチンゴケ。台風の雨でたっぷり水を含み、生き生きとしていました。